

チームとしての新型コロナウイルス感染拡大予防対策

ガイドライン

伊那市手良スポーツ少年団

(以下、チームと省す)

1. 全般的な事項

- ・チーム活動対象者は、感染を管理し、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、速やかに迅速な対応がとれる状態を整える。また、検温チェックリストと共に1年間保存する。
- ・練習、大会及びイベント参加時は、個々の過去14日よりの体調を把握し参加の有無を判断する。また、過去14日以内に県外に行かれた方との接触があった場合は練習、大会への参加を自粛する。
- ・練習、大会等の活動場所には消毒液を持参し、各設備において使用前使用後にこまめに消毒をする。

2. 参加者が遵守すべき事項

- 1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- 2) マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- 3) 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）や各地域で取り組まれている通知サービスを活用すること。
- 4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 5) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 6) イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 7) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- 8) イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- 9) イベントの前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること。
- 10) イベント前後での懇親会の開催を控えること。

3. 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

1) 十分な距離の確保

・運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること。（介護者や誘導者の必要な場合を除く）

・強度が高い運動・スポーツの場合は、呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けること。

※）感染予防の観点から、少なくとも2 mの距離を空けること。

2) 位置取り：走る・歩く時は、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

3) 運動・スポーツ中に、唾や痰を吐くことは極力行わないこと。

※）やむを得ない場合は、周囲を確認し飛沫の飛散に注意すること。

4) タオルの共用はしないこと。

5) 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を空けて対面をさけ、会話は控えめにすること。

6) 同じトング等での大皿での取分けや回し飲みはしないこと。

7) 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと。

4. その他、各大会参加時は大会主催者の指示を遵守すること。